

令和4年度 公共事業 再評価 対象事業一覧表

資料1

(経済産業部所管事業)														単位(事業費): 百万円									
番号	事業主体	事業名	(ふりがな) 箇所名	関係市町	事業概要			再評価理由	前回評価時点からの事業進捗			※1 変更理由等 (全体事業費) (計画期間)	※2 評価の視点		対応方針(案)及び理由		代表説明箇所の選定					特記事項	担当課
					評価時期	計画期間	全体事業費		事業費	進捗率	事業の投資効果		事業の必要性	進捗の見込み	対応方針(案)	理由	選定の視点						
						上段: 前回又は着手時 下段: 今回	上段: 前回又は着手時 下段: 今回										上段: 当初または前回 下段: 今回	上段: 当初または前回 下段: 今回	上段: 当初または前回 下段: 今回	1事業のみ	①社会的注目度等		
1	静岡県	生産基盤整備事業 (畑地帯総合整備事業)	西浦みかん江梨 西浦みかん江梨	沼津市	H24(当初)	H24~R3	1,331	事業採択(H24)後 10年が経過	-	-	B/C: 1.2	◎	◎	継続	・農道の整備により通作、輸送の利便性が大幅に高まり、営農の継続、耕作放棄地の解消が図られている。 ・用水路工の整備完了により、防除作業のさらなる効率化が図られている。 ・受益者は事業に対し協力的であることから、今後の事業進捗が見込まれるため、事業を継続する。	-	-	-	○	○	◎	国 50% 県 30% 地元20%	農地整備課
					R4(今回)	H24~R8 (+50%、+5年)	2,149 (+61.5%、+818)		1,541	71.7%	B/C: 2.0 EIRR: 8.3%												
2	静岡県	生産基盤整備事業 (畑地帯総合整備事業)	東光寺岸 東光寺岸	島田市	H24(当初)	H24~R2	1,013	事業採択(H24)後 10年が経過	-	-	B/C: 2.2	◎	◎	継続	・農道の整備により通作、輸送の利便性が高まり、担い手農家による営農の継続が図られている。受益者は事業に対して協力的であり、今後、確実に進捗が見込まれることから事業を継続する。	-	-	-	-	○	◎	国 50% 県 30% 地元20%	農地整備課
					R4(今回)	H24~R7 (+55.6%、+5年)	1,500 (+48.1%、+487)		1,147	76.5%	B/C: 1.7 EIRR: 9.5%												
3	静岡県	農村整備事業(中山間地域総合整備事業)	東河 東河	東伊豆町 河津町	H24(当初)	H24~H29	1,059	事業採択(H24)後 10年が経過	-	-	B/C: 1.9	◎	◎	継続	・農道工の路床改良や法面保護等の追加により、全体事業費が増加した。 ・全体事業費の増額により、完了年度を延伸した。	-	-	-	○	○	◎	国 55% 県 30% 地元15%	農地保全課
					R4(今回)	H24~R8 (+180%、+9年)	1,816 (+71.5%、+757)		1,237	68.1%	B/C: 2.2 EIRR: 6.4%												

(交通基盤部所管事業)														単位(事業費): 百万円									
番号	事業主体	事業名	(ふりがな) 箇所名	関係市町	事業概要			再評価理由	前回評価時点からの事業進捗			※1 変更理由等 (全体事業費) (計画期間)	※2 評価の視点		対応方針(案)及び理由		代表説明箇所の選定					特記事項	担当課
					評価時期	計画期間	全体事業費		事業費	進捗率	事業の投資効果		事業の必要性	進捗の見込み	対応方針(案)	理由	選定の視点						
						上段: 前回又は着手時 下段: 今回	上段: 前回又は着手時 下段: 今回										上段: 当初または前回 下段: 今回	上段: 当初または前回 下段: 今回	上段: 当初または前回 下段: 今回	1事業のみ	①社会的注目度等		
4	静岡県	道路改良事業	一般国道362号 本川根~静岡バイパス	川根本町	H30(前回)	S56~R4	24,000	社会経済情勢の急激な変化等(計画期間の延伸)	20,605	85.8%	B/C: 0.9	◎	◎	継続	・近年、観光客数の増加により必要性が一層高まっており、さらに、事業の投資効果も見込まれ、用地取得が既に完了しているなど、今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する。	-	○	-	○	-	◎	国 50% 県 50%	道路整備課
					R4(今回)	S56~R8 (+9.1%、+4年)	25,500 (+5.9%、+1,500)		22,870	89.6%	B/C: 0.9 EIRR: 3.7%												
5	静岡県	道路改良事業	一般国道135号 吉田~川奈拡幅	伊東市	H29(前回)	H20~R10	7,500	再評価実施(H29)後 5年が経過	875	11.7%	B/C: 1.9	◎	◎	継続	・近年、観光客数の増加により必要性が一層高まっており、さらに、事業の投資効果も見込まれ、優先的に進めている区間の用地取得が7割達し、一部工事に着手するなど、今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する。	-	-	-	-	-	◎	国 45% 県 55%	道路整備課
					R4(今回)	H20~R20 (+47.6%、+10年)	7,500 (変更なし)		1,758	23.4%	B/C: 2.3 EIRR: 6.7%												
6	静岡県	道路改良事業	一般国道150号 磐南IIバイパス	磐田市	H29(前回)	H20~R5	4,000	再評価実施(H29)後 5年が経過	1,373	34.3%	B/C: 2.6	◎	◎	継続	・近年においても、依然として慢性的な渋滞が継続していることから、早急な対策が求められており、さらに、事業の投資効果も見込まれ、優先整備区間の用地取得が既に完了するなど、今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する。	-	-	-	-	○	◎	国 45% 県 55%	道路整備課
					R4(今回)	H20~R15 (+66.6%、+10年)	4,500 (+12.5%、+500)		2,393	53.2%	B/C: 1.7 EIRR: 5.3%												
7	静岡県	道路改良事業	一般国道150号 御前崎拡幅	御前崎市	H29(前回)	H29~R7	2,700	事業採択(H29)後 5年間経過	-	-	B/C: 1.8	◎	◎	継続	・近年、重要物流道路に指定されたことにより、必要性が一層高まっており、さらに、事業の投資効果も見込まれ、整備進捗に合わせ部分供用が図られるなど、今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する。	-	-	-	-	-	◎	国 45% 県 55%	道路整備課
					R4(今回)	H29~R7 (変更なし)	2,700 (変更なし)		1,524	56.4%	B/C: 1.9 EIRR: 8.0%												
8	静岡県	道路改良事業	一般国道473号 谷相良道路II	島田市	R1(前回)	H23~R6	20,200	社会経済情勢の急激な変化等(事業費の増加)	12,735	63.0%	B/C: 1.5	◎	◎	継続	・近年、周辺地域への企業立地が進むなど、必要性が一層高まっており、さらに、事業の投資効果も見込まれ、用地取得が既に完了しているなど、今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する。	-	-	-	○	-	◎	国 55% 県 45%	道路整備課
					R4(今回)	H23~R6 (変更なし)	21,700 (+7.4%、+1,500)		19,484	89.8%	B/C: 1.5 EIRR: 5.9%												
9	静岡県	道路改良事業	一般県道高洲和田線	焼津市	H29(前回)	H25~R4	2,000	再評価実施(H29)後 5年が経過	80	4.0%	B/C: 3.0	◎	◎	継続	・近年、周辺地域における道路の開通や製造業の発展により必要性が一層高まっており、さらに事業の投資効果も見込まれ、関連する市道改良の進捗が順調など、今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する。	-	-	-	-	-	◎	国 55% 県 45%	道路整備課
					R4(今回)	H25~R9 (+50%、+5年)	2,000 (変更なし)		285	14.3%	B/C: 3.2 EIRR: 12.2%												

番号	事業主体	事業名	(ふりがな)箇所名	関係市町	事業概要			再評価理由	前回評価時点からの事業進捗			※1 変更理由等 (全体事業費) (計画期間)	※2 評価の視点		対応方針(案)及び理由		代表説明箇所を選定 選定の視点					特記事項 事業費 負担割合	担当課		
					評価 時期	計画期間	全体事業費		事業費	進捗率	事業の投資効果		事業の 必要性	進捗の 見込み	対応方針 (案)	理 由	1事業 のみ	①社会的 注目度等	②計画 変更等	③事業 規模	④事業費 変更等			選 定 結 果	
						上段：前回又は着手時 下段：今回	上段：前回又は着手時 下段：今回																		上段：当初または前回 下段：今回
10	静岡県	河川改修事業	一級河川沼川	沼津市	H29 (前回)	H24～R13	25,000	再評価実施 (H29)後 5年が経過	7,855	31.4%	B/C：3.1	・地下水対策工 法の変更、幹線 道路や鉄道等の 交差点における 事業費の増額に 伴い全体事業費 が増大した。	◎	◎	継続	・近年、激甚化・頻発化する豪雨被害により、 新放水路整備の必要性が一層高まっており、さ らに、事業の投資効果も見込まれ、地元の期待 も大きいなど、今後の事業の進捗が見込まれる ことから、事業を継続する。	-	○	-	○	○	◎	国 50%	河川海岸 整備課	
R4 (今回)	H24～R13 (変更なし)	37,000 (+48%、+12,000 増)	20,228	54.7%	B/C：2.1 EIRR：6.9%																				
11	静岡県	河川改修事業	一級河川小潤井 川	富士市	H29 (前回)	H24～R13	3,384	再評価実施 (H29)後 5年が経過	169	5.0%	B/C：9.7	-	◎	◎	継続	・近年、激甚化・頻発化する豪雨を受け、小潤 井川沿川では過去に浸水被害が発生しているこ とから、地元の治水安全度向上への期待が大き く、さらに、事業の投資効果も見込まれ、関係 機関との調整が順調など、今後の事業の進捗が 見込めることから事業を継続する。	-	-	-	-	-	◎	国 50%	河川海岸 整備課	
R4 (今回)	H24～R13 (変更なし)	3,384 (変更なし)	1,545	45.7%	B/C：21.1 EIRR：89.9%																				
12	静岡県	河川改修事業	二級河川萩間川	牧之原市	H29 (前回)	H24～R13	2,745	再評価実施 (H29)後 5年が経過	1,085	39.5%	B/C：10.7	-	◎	◎	継続	・近年、激甚化・頻発化する豪雨を受け、萩間 川水系では度々浸水被害が発生していることか ら、地元の治水安全度向上への期待が大きく、 さらに、事業の投資効果も見込まれるなど、今 後の事業の進捗が見込めることから事業を継続 する。	-	-	-	-	-	◎	国 50%	河川海岸 整備課	
R4 (今回)	H24～R15 (+10%、+2年延 伸)	2,948 (+7%、+203増)	1,728	58.6%	B/C：4.6 EIRR：22.0%																				
13	静岡県	河川改修事業	二級河川黒石川	焼津市	H29 (前回)	H22～R11	6,348	再評価実施 (H29)後 5年が経過	853	13.4%	B/C：36.8	・橋梁架替に伴 う迂回路等の地 元調整や護岸工 の仮設工法見直 しの結果、完了 年度を延伸し た。	◎	◎	継続	・近年、激甚化・頻発化する豪雨を受け、栃山 川水系では過去に浸水被害が発生していること から地元の治水安全度向上への期待が大きく、 さらに、事業の投資効果も見込まれ、道路管理 者との調整が順調など、今後の事業の進捗が見 込めることから事業を継続する。	-	-	-	○	-	◎	国 45%	河川海岸 整備課	
R4 (今回)	H22～R19 (+40%、+8年延 伸)	6,348 (変更なし)	1,873	29.5%	B/C：60.3 EIRR： 292.1%																				
14	静岡県	河川改修事業	二級河川梅田川	焼津市	H29 (当初)	H29～R15	2,465	事業採択 (H29)後 5年が経過	-	-	B/C：4.5	-	◎	◎	継続	・近年、激甚化・頻発化する豪雨を受け、瀬戸 川水系では過去に浸水被害が発生していること から地元の治水安全度向上への期待が大きく、 さらに、事業の投資効果も見込まれ、道路管理 者との調整が順調など、今後の事業の進捗が見 込めることから事業を継続する。	-	-	-	-	-	◎	国 50%	河川海岸 整備課	
R4 (今回)	H29～R15 (変更なし)	2,465 (変更なし)	308	12.5%	B/C：6.1 EIRR：28.2%																				
15	静岡県	侵食対策事業	電洋海岸	磐田市	H29 (前回)	H24～R13	1,745	再評価実施 (H29)後 5年が経過	619	35.5%	B/C：1.1	・異常波浪の来 襲、海岸侵食の 進行による養浜 工事費の増加に 伴い、全体事業 費が増えた。	◎	◎	継続	・近年、地域住民や環境保護団体等の砂浜の保 全に対する期待も大きく、さらに、事業の投 資効果も見込まれ、天竜川の管理者等との調 整が順調など、今後の事業の進捗が見込めるこ とから事業を継続する。	-	-	-	-	○	-	◎	国 50%	河川海岸 整備課
R4 (今回)	H24～R13 (変更なし)	2,288 (+31%、+543増)	1,288	56.3%	B/C：2.6 EIRR：6.0%																				
16	静岡県	侵食対策事業	浜松五島海岸	浜松市	H29 (前回)	H24～R13	1,193	再評価実施 (H29)後 5年が経過	579	48.5%	B/C：9.2	・異常波浪の来 襲、海岸侵食の 進行による突堤 工事費の増加に 伴い、全体事業 費が増えた。	◎	◎	継続	・近年、地域住民や環境保護団体等の砂浜の保 全に対する期待も大きく、さらに、事業の投 資効果も見込まれ、浜名港海岸の管理者等との 調整が順調など、今後の事業の進捗が見込める ことから事業を継続する。	-	-	-	-	○	-	◎	国 50%	河川海岸 整備課
R4 (今回)	H24～R13 (変更なし)	2,187 (+83%、+994増)	1,190	54.4%	B/C：8.4 EIRR：8.9%																				
17	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	寺の脇	賀茂郡 松崎町	H30 (当初)	H30～R4	153	事業採択 (H30)後 5年が経過	-	-	B/C：1.6	・立木処分につ いて想定以上に 排出量が多く事 業費が増加し、 用地買収に不測 の日時を要した ことに伴い完了 年度を延伸し た。	◎	◎	継続	・近年、県内でも甚大な土砂災害が発生して おり、松崎町においても令和2年度に大規模な斜 面崩壊が発生するなど、事業に対する地元の期 待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、 今後の事業進捗が見込まれることから、事業を 継続する。	-	-	-	-	○	-	◎	国 45%	砂防課
R4 (今回)	H30～R5 (+20%、1年延 伸)	216 (+41%、63増)	176	81.4%	B/C：5.0 EIRR：15.7%																				
18	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	行田山	伊豆市	H30 (当初)	H30～R7	470	事業採択 (H30)後 5年が経過	-	-	B/C：2.5	-	◎	◎	継続	・近年、県内でも甚大な土砂災害が発生して おり、伊豆市においても平成30年からこれま でに12件の土砂災害が発生するなど、事業に 対する地元の期待も大きい。さらに、費用対 効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれる ことから、事業を継続する。	-	-	-	-	-	◎	国 45%	砂防課	
R4 (今回)	H30～R9 (+25%、2年延 伸)	470 (変更なし)	173	36.8%	B/C：8.9 EIRR：19.2%																				
19	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	青羽根岩下B	伊豆市	H30 (当初)	H30～R5	242	事業採択 (H30)後 5年が経過	-	-	B/C：4.9	-	◎	◎	継続	・近年、県内でも甚大な土砂災害が発生して おり、伊豆市においても平成30年からこれま でに12件の土砂災害が発生するなど、事業に 対する地元の期待も大きい。さらに、費用対 効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれる ことから、事業を継続する。	-	-	-	-	-	◎	国 47.5%	砂防課	
R4 (今回)	H30～R7 (+33%、2年延 伸)	242 (変更なし)	86	35.5%	B/C：10.3 EIRR：21.4%																				

番号	事業主体	事業名	(ふりがな)箇所名	関係市町	事業概要			再評価理由	前回評価時点からの事業進捗			※1 変更理由等 (全体事業費) (計画期間)	※2 評価の視点		対応方針(案)及び理由		代表説明箇所を選定 選定の視点					特記事項	担当課							
					評価時期	計画期間	全体事業費		事業費	進捗率	事業の投資効果		事業の 必要性	進捗の 見込み	対応方針 (案)	理由	1事業 のみ	①社会的 注目度等	②計画 変更等	③事業 規模	④事業費 変更等			選 結 果	定 果	事業費 負担割合				
						上段：前回又は着手時	上段：前回又は着手時																				上段：当初または前回	上段：当初または前回	上段：当初または前回	
						下段：今回	下段：今回																				下段：今回	下段：今回	下段：今回	
20	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	ままのうえ 欄之上A	伊豆の国市	H30 (当初)	H30~R5	268	事業採択 (H30)後 5年が経過	-	-	B/C: 2.1	-	◎	◎	継続	・近年、県内でも甚大な土砂災害が発生しており、伊豆の国市においても平成30年からこれまでに4件の土砂災害が発生するなど、事業に対する地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	-	-	-	-	-	国 45% 県 45% 市 10% ※評価調書の作成は省略	砂防課							
R4 (今回)	H30~R5 (変更なし)	292 (+9%、24増)	257	88.0%	B/C: 3.8 EIRR: 12.8%	21	静岡県		急傾斜地崩壊対策事業	おおいほ 大久保	沼津市						H29 (再評価)	H25~R3	300	再評価 (H29)後 5年が経過	108	36.0%	B/C: 2.4	-	◎	◎	継続	・近年、県内でも甚大な土砂災害が発生しており、沼津市においても平成29年からこれまでに15件の土砂災害が発生するなど、事業に対する地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	-	-
R4 (今回)	H25~R6 (+33%、3年延伸)	526 (+75%、226増)	371	70.5% (+34.5%)	B/C: 6.1 EIRR: 14.1%	22	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	よこすな 横砂大平山	静岡市	H29 (当初)	H29~R7	443	事業採択 (H29)後 5年が経過	-	-	B/C: 3.9	-	◎		◎	継続	・近年、県内でも甚大な土砂災害が発生しており、静岡市においても平成29年からこれまでに24件の土砂災害が発生するなど、事業に対する地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。						-	-
R4 (今回)	H29~R7 (変更なし)	502 (+13%、59増)	274	54.6%	B/C: 4.0 EIRR: 12.0%	23	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	だいじくじ 大沢寺	藤枝市	H30 (当初)	H30~R4	256		事業採択 (H30)後 5年が経過	-	-			B/C: 1.3				-	◎	◎	継続	・近年、県内でも甚大な土砂災害が発生しており、藤枝市においても平成30年からこれまでに3件の土砂災害が発生するなど、事業に対する地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	-	-
R4 (今回)	H30~R7 (+60%、3年延伸)	312 (+22%、56増)	187	59.9%	B/C: 4.0 EIRR: 12.7%	24	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	いずもと 出本	島田市	H30 (当初)	H30~R3	223	事業採択 (H30)後 5年が経過		-	-	B/C: 1.9	-	◎	◎	継続	・近年、県内でも甚大な土砂災害が発生しており、島田市においても平成30年からこれまでに7件の土砂災害が発生するなど、事業に対する地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。						-	-
R4 (今回)	H30~R5 (+50%、2年延伸)	268 (+20%、45増)	218	81.3%	B/C: 4.1 EIRR: 14.2%	25	静岡県	海岸環境整備事業	あたまこうかい 熱海港海岸	熱海市	H29 (前回)	H3~R11	21,149		再評価実施 (H29)後 5年が経過	14,903	70.5%	B/C: 6.1						-	◎	◎	継続	・近年、多くの人々(市民、観光客)に利用され、熱海市の観光拠点となっており、早期整備が求められている。さらに、事業の投資効果も見込まれ、地元や関係者からの事業に対する期待も大きい。今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する。	-	-
R4 (今回)	H3~R11 (変更なし)	17,118 (-19.1%、4,031減)	15,415	90.1%	B/C: 7.5 EIRR: 28.3%	26	静岡県	高潮対策事業	しみずこうかい 清水港海岸	静岡市	H29 (前回)	S61~R4	14,257	再評価実施 (H29)後 5年が経過		7,007	49.1%	B/C: 2.1	-	◎	◎	継続	・近年、切迫する南海トラフ巨大地震や東海地震等の発生が危惧され、早急な対策が求められている。さらに、事業の投資効果も見込まれ、地元や関係者からの事業に対する期待も大きい。今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する。						-	-
R4 (今回)	S61~R14 (+27%、10年延伸)	17,598 (+23.4%、3,341増)	8,196	46.6%	B/C: 1.8 EIRR: 5.6%	27	静岡県	港湾整備事業 (小型船溜り整備事業)	しみずこう 清水港	静岡市	H30 (前回)	H20~R5	6,042		社会経済情勢の 急激な変化等 (全体事業費の 増加)	4,116	68.0%	B/C: 1.2						-	◎	◎	継続	・近年、貨物船の大型化が進み、今後もさらなる船舶の大型化が予想されることから、大型船と小型船の船舶輻輳の解消が求められている。地元も事業に協力的であり、今後の事業進捗が見込めることから、事業を継続する。	-	-
R4 (今回)	H20~R7 (+11%、2年延伸)	7,926 (+31.2%、1,884増)	5,619	70.9%	B/C: 1.2 EIRR: 4.7%	28	静岡県	海岸事業	やいづこうかい 焼津漁港海岸	焼津市	当初	H24~R13	8,836	事業着手(H24)後 10年が経過		0.00	0.00	B/C: 2.3	-	◎	◎	継続	・近年、切迫する南海トラフ巨大地震や東海地震等の発生が危惧され、津波から住民の生命と財産を守る早急な対策が求められている。さらに、事業の投資効果も見込まれ、地元や関係者の事業に対する期待も大きい。今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する。						-	-
R4 (今回)	H24~R13 (変更なし)	8,836 (変更なし)	2,339	26.4%	B/C: 2.4 EIRR: 9.0%	29	静岡県	水産物供給基盤整備 事業(漁港施設機能 強化事業)	あらいづこう 妻良漁港	南伊豆町	当初	H24~R5	1,165		事業着手(H24)後 10年が経過	0.00	0.00	B/C: 3.2						-	◎	◎	継続	・近年、切迫する南海トラフ巨大地震や東海地震等の発生が危惧され、被災時に緊急物資を受け入れる防災港湾としての早急な対策が求められている。さらに、事業の投資効果も見込まれ、地元や関係者の事業に対する期待も大きい。今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する。	-	-
R4 (今回)	H24~R5 (変更なし)	1,165 (変更なし)	1,042	89.4%	B/C: 3.6 EIRR: 45.4%																									

番号	事業主体	事業名	(ふりがな) 箇所名	関係市町	事業概要			再評価理由	前回評価時点からの事業進捗			※1 変更理由等 (全体事業費) (計画期間)	※2 評価の視点		対応方針(案)及び理由		代表説明箇所の選定						特記事項	担当課				
					評価時期	計画期間			全体事業費	事業費	進捗率		事業の投資効果	事業の必要性	進捗の見込み	対応方針(案)	理由	選定の視点										
						上段：前回又は着手時	下段：今回		上段：前回又は着手時									上段：当初または前回	下段：今回	上段：当初または前回	1事業のみ	①社会的注目度等			②計画変更等	③事業規模	④事業費変更等	選定結果
						下段：今回	下段：今回		下段：今回									下段：今回	下段：今回	下段：今回	下段：今回							
30	静岡県	街路事業	とうかいどうほんせん JR東海道本線・ ごてんぼせん JR御殿場線(沼津駅付近連続立体交差事業)	沼津市	R3(前回)	H15~R16	78,700	社会経済情勢の急激な変化等(全体事業費の増加・計画期間の延伸)	5,210	6.6%	B/C: 1.1	◎	◎	継続	令和2年度に貨物駅転先用地取得が完了したことで、事業の着実な進捗の目途がたち、地元の期待も大きく、事業の投資効果も見込まれることから、事業を継続する。	-	○	-	○	○	◎	国55.0% 県22.5% 市22.5%	街路整備課					
					R4(今回)	H15~R23(+22%、+7年)	103,400(+31%、+24,700)		6,627	6.4%	B/C: 1.1 EIRR: 4.3%																	
31	静岡県	街路事業	ともしけいかくどうろちや 都市計画道路焼津広幅線(越後島工区)	焼津市	R2(前回)	H28~R10	7,058	社会経済情勢の急激な変化等(全体事業費の増加)	2,692	38.1%	B/C: 1.3 EIRR: 5.5%	◎	◎	継続	近年、重要物流道路に指定されるなど、本路線の整備の必要性は一層高まっている。さらに、地元の期待も大きく、用地買収や工事も順調に進捗しており、事業の投資効果も見込まれることから、事業を継続する。	-	-	-	○	○	-	国55.0% 県30.0% 市15.0%	街路整備課					
					R4(今回)	H28~R10(変更なし)	8,299(+18%、+1,241)		4,941	59.5%	B/C: 1.2 EIRR: 5.0%																	
32	静岡県	街路事業	ともしけいかくどうろちや 都市計画道路静波1号幹線	牧之原市	H30(当初)	H30~R5	500	事業採択(H30)後5年が経過	-	-	B/C: 2.2	◎	◎	継続	近年、太平洋岸自転車道のナショナルサイクルルート指定や日本初の大型人工サーフィン施設の開業など、当地域への来訪人口拡大の機運が高まっており、本路線の整備の必要性が一層高まっている。さらに、地元の期待も大きく、用地買収が完了し工事も順調に進捗しており、事業の投資効果も見込まれることから、事業を継続する。	-	-	-	-	○	国55.0% 県30.0% 市15.0%	街路整備課						
					R4(今回)	H30~R6(+17%、+1年)	680(+36%、+180)		630	92.7%	B/C: 1.6 EIRR: 6.7%																	

※1 「変更理由等」欄は、全体事業費の変動が3割を超える場合、計画期間の変動が5割を超える場合に記入する  
 ※2 「評価の視点」欄は、「継続が妥当」→◎、「見直しにより継続が妥当」→○、「継続は妥当ではない」→×  
 ※3 河川事業の評価は、原則として現在からの経済性を評価する。(治水経済調査マニュアル(案))

○代表説明事業選定の視点

- 以下の点に基づき代表箇所を選定する。
- なお、①、②に該当する場合には、複数となっても必ず選定する。
  - 社会的に注目されている、課題が大きいなどの箇所(B/C<1など)
  - 事業計画を変更または中止する箇所
  - 事業規模が大、事業期間が長い箇所
  - 計画時又は前回再評価時と著しく事業費・計画期間、効果が異なった箇所(事業費は3割を超えて増加している場合、計画期間は5割超えて延長している場合など)